

HEADLINE

表

1. 合格速報です

裏

2. 後輩諸君！自分の道を進め！

編集後記

Topic1 合格速報です

二人に一人は国公立合格！

3月10日 判明分

※すべて現役高校生の実績です！

東京大学 4名 京都大学 1名

名古屋大学 4名

大阪大学 2名

東北大学 7名

北海道大学 1名

お茶の水女子大学 1名

筑波大学 1名

東京外国語大学 1名

首都大学東京 2名

名古屋工業大学 1名

国公立 医学部 医学科 現役一般入試 突破

名古屋大学 (医-医) 1名

浜松医科大学 (医-医) 1名

千葉大学 2名 早稲田大学 7名

埼玉大学 2名 慶應義塾大学 6名

信州大学 3名 上智大学 2名

静岡大学 19名 東京理科大学 14名

山梨大学 13名 明治大学 16名

静岡県立大学 10名 中央大学 14名

山梨県立大学 8名 青山学院大学 3名

都留文科大学 3名 立教大学 2名

浜松医科大学 2名 法政大学 9名

国公立
準大学

132 名

私立
大学

666 名

みなさんの努力に敬意を表し、その未来に幸多からんことを祈ります。

一人ひとりにドラマがありました。第一志望に合格できなかった生徒もいます。でも受験生のみなさんが努力歩んだ道は確かにありました。一つの通過点の大学受験よりもこの先の人生の方がはるかに長い。よい時もあれば悪い時もある。この数か月のように、前を見て一歩ずつ歩んでほしいと思います。

続け！新高校1～3年生！次は君たちの番だ！残された時間はみな同じ。使い方で差がつく！！

春期講習生・新年度入学生 受付中

大学受験、第一志望合格のために先輩たちが実践したこと。
国公立大の前期試験の結果発表も終わりました。後期試験に向かう生徒、大学受験が終わった生徒それぞれがこの大学受験に向けて何を取り組んだのか、担当として思い返してみます。

① 私立か国公立か？

私立大と国公立大の大きな違いは“受験科目”と“学費”です。

「受験科目が少なく負担が少ない分、学費が高い」という認識は受験の常識といってよいでしょう。では、いつの段階で国公立と私立を選択するのでしょうか？山梨、静岡の公立高校では基本的に2年から3年に進級するときはその選択が可能のようです。時期とすると判断は2年生の11月ごろ、進級に向けてのクラス分け等、学校の準備が行われるタイミングです。

つまり、みなさんは1、2年の間は国公立型で勉強をするのです。ですから、私立受験が第一志望という判断とは「国公立(主に国立)を受験しない」という判断にほかなりません。実際に文理学院でもこれまで積極的に私立大学にターゲットを絞って受験するケースは少数派で、国公立の準備をしながら、私立は滑り止めというケースの私立進学が大多数です。

誤解がないように添えますが、私立受験が学習に対して消極的な姿勢の結果だと言いたいものではありません。ただ、苦手科目を克服したいと思ったら、文理学院が全力で指導します、ということです。補講でも学習管理でも何でもします。諦めてしまう前に、一度相談してください。そのような取り組みこそ文理学院の最も得意とする部分であり、みなさんに期待したいところです。

今年も、そうやって何人もの文理に通う生徒が国公立の受験に挑みました。結果はそれぞれでしたが、挑戦した生徒はいつでも清々しく、前を向いています。みなさん、チャレンジしましょう。

② 第一志望大学の決定

まずは、学部・学科から決めましょう。将来就きたい職業があるのであれば、自動的に学部学科は決まります。しかし、そうでない場合は学部学科を決めるのは難しい場合もあるかもしれません。となったら、憧れでもよいのです。行きたい大学があるかないかでは、長い受験生活を送るときの活力が違います。

いつまでに決めればよいか？という、これまでのうまくいったケースを紐解くと、遅くとも3年の6月くらいまでには決めていたようです。部活で忙しい場合もあるとは思いますが、将来を見据えて夏休みが始まる1か月前には目標を立てられることが望ましいのです。

このようなことを書きながら、おかしいかもしれませんが、みなさんに質問です。

「そもそも、なぜ大学に進学したいのですか？」

答えはみなさんに用意してほしいのですが、伝えたいことは「みなさんは、大学受験を通じて自分自身としっかり向き合ってほしい。」ということです。実を言うと、多くの生徒は考える間もなく勉強をさせられていく過程でこの問題に直面するのです。そして、自ら答えを出していくのです。その中で成長していく生徒が今年もたくさんいました。学んだ先にあるものを学ぶ前から考えても仕方がない、まずは動き出すことが大切です。

で、何をすればよいか？

1) 生活のリズムを整えましょう。

睡眠は最後の最後まで削ってはいけません。生活の中の無駄な時間を見極め、そこから削っていきましょう。

2) 学習の項目を具体的に挙げる。

各科目で学習法は異なるでしょう。その取り組む内容をより具体的にしましょう。使う問題集や時間をはっきりさせるのです。

3) センター試験の過去問には必ず触れましょう。

当分の間、受験の中心は国公立大である生徒が多いはずですが、先輩たちが受けた試験です。学習の指標には十分なものです。

ここに挙げたものは、受験生が受験直前、切羽詰まったときに取り組んでいたことです。

危機感の薄い今から、今だから取り組みましょう。

高等予備校では、春期講習・新年度入学生を受付中です。文理で一緒に学びましょう！

■ブログには各校舎の情報満載！スケジュール、講師のつぶやき、自分勝手なメッセージ...

校舎ブログをホームページから、チェックしてください！

■第一志望合格のために、スタッフ一同全力で生徒を応援します。悩みは一人で抱え込もうとせず、いつでも、何でも相談してください(生徒のみなさんも、保護者様も)。

新入生受付中！

春、始めるにはよい時期です。

無料体験授業受付中。ぜひお友達を紹介してください！

編集後記

一年の締めくり版。それぞれの思いを胸に卒業していく生徒たち。この時期は本当にいろいろ考えます、というより考えさせられます。

生徒が大学受験を通じて学んだことは何だったのか。学んでほしかったことは何だったのか。いろいろ整理していくといつも一つの答えにたどり着きます。それは、今はわからない、ということ。未来のことなんて誰にもわかりません。大学受験の結果がその後大きく影響するかどうかは、今後の選択次第。ただ、私たち教師は、大学受験が生徒のみなさんの将来の選択の幅を大きく広げてくれると信じています。

受験終了後、「先生ありがとう。」と言ってくれる生徒がたくさんいます。私たち教師にとってそれが一番嬉しい言葉です。来年度も一生懸命指導して、全員を第一志望に合格させるぞ！という気持ちになります。大学に進学される生徒のみなさん、目標を持って充実した学生生活を送ってください！【い】